

第 3 3 回水の週間実施報告書



平成 2 1 年 1 0 月
水の週間実行委員会

第33回「水の週間」ウォーターフェア'09 東京は後援機関

及び協賛団体の皆様のご支援・ご協力により開催されました。

主催機関

国土交通省

東京都

水の週間実行委員会

後援機関

文部科学省

厚生労働省

農林水産省

経済産業省

環境省

(独) 水資源機構

(財) 日本科学技術振興財団

日本放送協会

(社) 日本新聞協会

協力団体

サントリーホールディングス(株)

TOTO(株)

協賛団体（五十音順）

(財) 河川環境管理財団

(財) 河川情報センター

(社) 建設広報協議会

(社) 建設コンサルタンツ協会

(財) 国土技術研究センター

(財) 砂防・地すべり技術センター

(財) 砂防フロンティア整備推進機構

石油連盟

(社) セメント協会

(社) 全国建設業協会

(社) 全国建築物飲料水管理協会

(財) ダム技術センター

(財) ダム水源地環境整備センター

(社) ダム・堰施設技術協会

電気事業連合会

(社) 日本埋立浚渫協会

(社) 日本ガス協会

(社) 日本経済団体連合会

(社) 日本建設機械化協会

(財) 日本建設情報総合センター

(社) 日本水道工業団体連合会

日本製紙連合会

(社) 日本鉄鋼連盟

(社) 日本電機工業会

(社) 日本道路建設業協会

(社) 日本土木工業協会

(社) 日本ホテル協会

(社) 日本林業土木連合協会

ビール酒造組合

(財) リバーフロント整備センター

水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット

(社) 日本水道協会

(財) 利根川・荒川水源地域対策基金

(財) 造水促進センター

全国簡易水道協議会

(社) 日本治山治水協会

(社) 日本下水道協会

(社) 土木学会

(社) 日本河川協会

(財) 日本ダム協会

(社) 農業農村工学会

(社) 日本工業用水協会

(社) 日本治水砂防協会

(独) 水資源機構

(財) 水資源協会

(目 次)

第33回「水の週間」の開催に当たり	2
第33回「水の週間」行事の概要	3
ウォーターフェア'09東京	4
第33回水の週間水を考えるつどい	5
ウォーターフェア'09東京「水の展示会」	8
平成21年度水資源功績者表彰	14
第31回全日本中学校水の作文コンクール	16
第24回水とのふれあいフォトコンテスト	18
第29回ウォーターフェア隅田川レガッタ	20
利根川水系における上下流交流	23
水の週間一斉打ち水大作戦	24
国や地方公共団体等での実施状況	25
第33回水の週間新聞等報道状況	27
「水の週間」実施経過	28
水の週間実行委員会について	30

※表紙の写真は、第24回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ受賞作「ぼくが先だ!」: 照井俊男氏

「水の日」及び「水の週間」について

昭和52年5月31日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年8月1日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている8月上旬が適当であるので、その初日である8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

第 33 回「水の週間」の開催に当たり



水の週間実行委員会会長 青山 俊樹

本日ここに、第 33 回「水の週間」 ”水を考えるつどい” を開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。

水の週間実行委員会は、政府の「水の日」、「水の週間」の主旨に賛同した、水と深い関わりをもつ団体が昭和 53 年に設立したもので、これまで、「水の日」、「水の週間」に関わる各種行事を積極的に実施して参りました。本年の「水の週間」におきましても、多数のご協賛をいただき、東京での中央行事「ウォーターフェア’09 東京」を開催することとなりました。この場をお借りいたしまして、改めて御礼申し上げます。

近年、我が国の年降水量は雨の多く降る年と少ない年のばらつきが増大し、降水量の少ない年に深刻な水不足の発生が危惧されています。

また、気候変動による降雪量の減少や雪溶けの時期の早期化により、雪溶け水を利用することが難しくなっており、地球温暖化のなかで、いかに「水」を安定的に供給していくかは、我が国にとどまらず、地球規模での重要な課題となっています。

このため、本年 3 月にトルコ・イスタンブールで開催された第 5 回世界水フォーラムをはじめとして、いかに「水」を安定的に供給していくかについて、各方面で熱心な議論が行われているところです。

本年も、私たちの生活と水との関わりや水の大切さについて改めて考え、「水の有限性・重要性」についての関心と理解を深めていただくため、ここ科学技術館において、この”水を考えるつどい”の他、8 月 2 日まで「水の展示会」を開催いたします。この展示会では、後ほど表彰が行われる「全日本中学生水の作文コンクール」の入賞作品も展示させていただいています。また、より水に親しんでいただくため 8 月 2 日に隅田川において「第 29 回ウォーターフェア隅田川レガッタ」を開催することとしています。

このほか、水源地域と水の受益地とが相互に理解を深めるための上下流交流活動やダムや水路などの施設に親しんでいただくための施設見学会などをはじめ数多くの行事が全国各地で開催されます。

このような活動を通じて、水の週間実行委員会は、私たちの生活と水との関係により一層関心をもつていただくとともに、水源地域の皆様方のご協力に対し、改めて感謝する活動に、積極的に取り組んでまいり所存であります。

最後になりましたが、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

第33回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
ウォーターフェア '09東京	1. 水の週間水を考えるつどい 日時:平成21年7月31日(金) 13:30～16:00 場所:科学技術館(地下2階サイエンスホール) 内容:①主催者あいさつ、水源地域からのメッセージ ②表彰式 ・水資源功績者 ・水とのふれあいフォトコンテスト入賞者 ・全日本中学生水の作文コンクール優秀者 ③上下流交流コンサート ④パネルディスカッション 2. 水の展示会(7月31日～8月2日は入場無料) 日時:平成21年7月31日(金)～8月2日(日)9:30～16:50 場所:科学技術館(2階展示ホール) ※初日のみ10:30～ 内容:「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」を共通テーマにした展示のほか、パネル等により日本の水資源の現状を分かりやすく紹介。また、水資源功績者の紹介パネルや全日本中学生水の作文コンクール及び水とのふれあいフォトコンテストの各入賞作品の展示	主催:国土交通省 東京都 実行委員会 (注) 後援:文部科学省 厚生労働省 農林水産省 経済産業省 環境省 (独)水資源機構 (財)日本科学技術振興財団 日本放送協会 (社)日本新聞協会
水資源功績者表彰	水資源行政の推進に特に顕著な功績のあった個人並びに団体に対して、国土交通大臣表彰を授与	主催:国土交通省
第31回全日本中学生水の作文コンクール	「水について考える」をテーマとして、中学生による水の作文コンクールを実施 都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与	主催:国土交通省、都道府県 後援:文部科学省 全日本中学校長会 (独)水資源機構、実行委員会
第24回水とのふれあいフォトコンテスト	「水辺の憩い、水のある風景」、「くらしの中で毎日使う水」、「作物や草木を育て、エネルギーを生む水」などをテーマとしてフォトコンテストを実施 優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与	主催:実行委員会 後援:国土交通省、東京都 (独)水資源機構
第29回ウォーターフェア隅田川レガッタ	日時:8月2日(日) 11:00～16:30 場所:隅田川(言問橋～吾妻橋間) 内容:一般・大学OB、中学生等によるエイト、ナックルフォアを実施 隅田川レガッタと隅田川浄化用水に関するパネル展示を実施	主催:(社)東京都ボート協会 実行委員会 後援:国土交通省、東京都外
利根川水系上下流交流会	流域として密接なかかわりを有する上下流の交流を目的として開催 「草木湖まつり」での上下流交流 8月15日(土)	主催:みどり市 協力:東京都墨田区 東京都水道局、実行委員会
水の週間一斉打ち水大作戦	日時:8月3日(月) 12:30～ 場所:趣旨に賛同いただける団体の建物前ほか 内容:雨水や風呂の残り湯など、水道水以外の水を有効利用し、クーラーにない「涼」を実感、パネル展示等も併せて実施	主催:国土交通省、都道府県 実行委員会
水源施設等の見学会	ダムや浄水場などの水資源開発施設の見学会を各都道府県並びに(独)水資源機構等において実施	主催:都道府県 (独)水資源機構外
その他各地での特色ある行事	全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しを実施	
広報	ラジオ、新聞、雑誌、電光板ニュース等による各種の広報活動を実施	
ポスターの掲示	キャッチフレーズ「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」を掲げたポスターを全国の各都道府県、各市町村並びに関係機関等に配布	
パンフレットの配布	「日本の水2009」を中学校等に配布し、施設見学会、講演会等に活用	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指すものです。

ウォーターフェア '09 東京

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について広く国民の皆さんに関心を持っていただき、理解を深めていただくため、「水の週間」の中央行事として、「ウォーターフェア '09 東京」を実施しました。

(主催：国土交通省、東京都、水の週間実行委員会)

平成21年7月31日(金)から8月2日(日)まで、科学技術館2階イベントホールにおいて「水の展示会」を行うとともに、7月31日(日)に同館のサイエンスホールにおいて「水を考えるつどい」を開催しました。また、8月2日(日)には、水の週間記念隅田川レガッタを言問橋～吾妻橋間で実施するとともに、同会場墨田区役所前うるおい広場他において隅田川浄化等の「パネル展示」を実施しました。



水の展示会オープニングテープカット

(右から青山俊樹 水の週間実行委員会会長、谷本光司 国土交通省土地・水資源局水資源部長、河島均 東京都都市整備局長、葉山莞児 (財)日本ダム協会会長)

第33回水の週間 水を考えるつどい



水を考えるつどい（竹歳誠 国土交通審議官挨拶）

平成21年7月31日（金）、北の丸公園（東京都千代田区）内の科学技術館（サイエンスホール）において、第33回水の週間水を考えるつどいを開催しました。

表彰式では、主催者である国土交通大臣の代理として竹歳誠 国土交通審議官が、同じく東京都知事の代理として河島均 東京都都市整備局長が、さらに青山俊樹 水の週間実行委員会会長が挨拶を行いました。

また、今年度も利根川流域の水源地域を代表して埼玉県神川町の田村啓町長に、「水源地域からのメッセージ」を發表していただきました。

引き続き、平成21年度水資源功績者、第24回水とのふれあいフォトコンテスト及び第31回全日本中学生水の作文コンクールの各表彰が、それぞれ行われました。

表彰式終了後には同会場において、上下流交流の一環として、上下流交流コンサートと題して、利根川上流の水源地域より、利根川源流讃歌合唱団を迎え、「利根川水源地」や「奥利根の旅」など全7曲を披露して頂きました。

さらに、昨年同様「水を考えるつどい」パネルディスカッションを開催しました。このパネルディスカッションは、国土交通省西川智氏をコーディネーターに、水に関する様々な取り組みをされている清水康利氏（TOTO㈱CSR 推進部環境経営企画室長）、高原俊幸氏（東京都水道局企画担当部長）、高屋雅光氏（サントリービジネスエキスパート㈱環境活動部長）、野上正子氏（山口県下松市立米川小学校長）、山本徳治氏（(独)水資源機構理事）をパネリストとして迎え、『何をすればいいの？水が大切なことはわかっているつもりだけど…～気候変動の影響を考えた、今後の水の使い方・接し方～』をテーマに近年の気候変動等の影響を踏まえ、今後の水に関する身構え、具体的な行動について議論を深め、次世代に向けたメッセージを発信すべく、議論をして頂きました。

主 催 者 挨 拶



竹歳国土交通審議官



河島東京都都市整備局長



青山水の週間実行委員会会長

水源地域からのメッセージ



田村神川町長

水の作文コンクール 最優秀賞受賞作朗読



愛知県新城市立新城中学校
2年 白井夏純

上下流交流コンサート（利根川源流讃歌合唱団）



パネルディスカッション



コーディネーター



西川国土交通省水資源政策課長

パネリスト



清水 TOTO(株)環境経営企画室長



高原東京都水道局企画担当部長

パネリスト



高屋サントリービジネスエキスパート(株)
環境活動部長



野上山口県下松市立米川小学校長



山本(独)水資源機構理事

ウォーターフェア' 09 東京「水の展示会」

7月31日から8月2日までの3日間、科学技術館（千代田区北の丸公園内）において、ウォーターフェア' 09 東京「水の展示会」を開催しました。

「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」を共通テーマとして、多くの組織、団体による多彩な展示が行われました。また特別展示として「平成21年度水資源功績者」、「第24回水とのふれあいフォトコンテスト」及び「第31回全日本中学生水の作文コンクール」の入賞作品を展示しました。

展示期間中は、同時期に開催されていた“青少年のための科学の祭典”（7月31日から8月2日まで）に訪れた子供達をはじめ、親子連れを中心に多くの方々にご来場いただきました。

今年は、民間企業の参加もあり、参加体験型のコーナーが設けられるなど、各出展団体による趣向を凝らした展示がなされ、来場者は延べ約8,800名に達しました。

展示テーマ 「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」

「日本の水」

【国土交通省】

「からだとくらしにいい習慣。東京水」

【東京都水道局】

「水はどこからくるの？」

【水の週間実行委員会】

「^{いのち}生命と水 利根川の水」

【国土交通省関東地方整備局】

（国土交通省利根川上流河川事務所）

（国土交通省江戸川河川事務所）

（国土交通省八ツ場ダム工事事務所）

（国土交通省利根川ダム統合管理事務所）

「ダムなんでも相談室」

【ダム工学会 C M E D 会】

「農業用水を大切に使う先人の知恵」

【農林水産省・（社）農業農村工学会】

「水のふるさと 森林」

【（社）日本治山治水協会】

「飲料水を汚染から守ろう」

【（社）全国建築物飲料水管理協会】

「やってみよう！雨水利用

行ってみよう！すみだ環境ふれあい館」

【東京都墨田区】

「サントリー「^{みずいく}水育」を体験しよう！」

【サントリーホールディングス(株)】

「みんなで“水の大切さ”について考えてみよう！」

【TOTO(株)】

特別展示

平成21年度水資源功績者

【国土交通省】

第24回 水とのふれあいフォトコンテスト 入賞作品

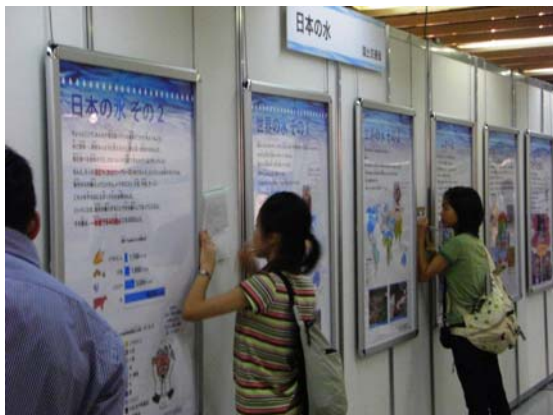
【水の週間実行委員会】

第31回 全日本中学生水の作文コンクール 優秀作品

【国土交通省・都道府県】

「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」

「主 催 者 展 示」



【国土交通省水資源部】 「日本の水」



【東京都水道局】 「からだとくらしにいい習慣。東京水」



【水の週間実行委員会】 「水はどこからくるの?」

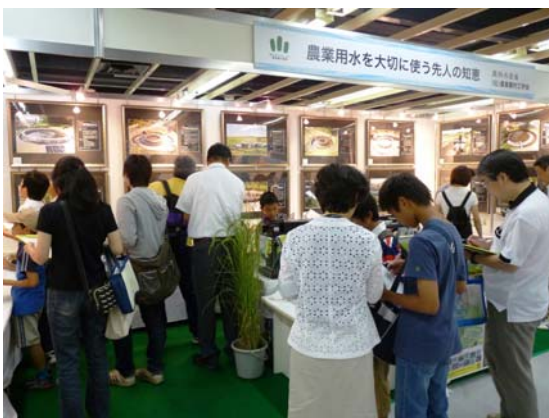
「一般展示」



【国土交通省利根川上流河川事務所ほか3事務所】 「いのちと水 利根川の水」



【ダム工学会 C M E D 会】 「ダムなんでも相談室」



【農林水産省・(社) 農業農村工学会】 「農業用水を大切に使う先人の知恵」

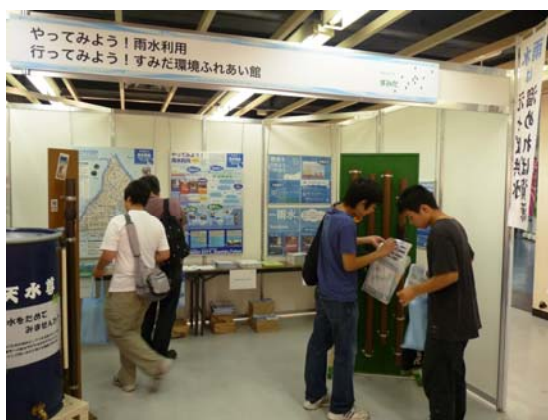
「一般展示」



【（社）日本治山治水協会】 「水（みづ）のふるさと 森林（しんりん）」



【（社）全国建築物飲料水（りやうすい）管理（かんり）協会（けいかい）】 「飲料水（りやうすい）を汚染（おせん）から守ろう！」



【東京都墨田区（すみだ）】 「やってみよう！雨水（あまづみ）利用（りよう） 行ってみよう！すみだ環境（かんげい）ふれあい館（かん）」

「一般展示」



【サントリーホールディングス㈱】



「サントリー「^{みずいく}水育」を体験しよう！」



【TOTO㈱】 「みんなで“水の大切さ”について考えてみよう！」



「特別展示」



【平成 21 年度水資源功績者】



【第 31 回全日本中学生水の作文コンクール】
「優秀作品展示」



【第 24 回水とのふれあいフォトコンテスト】
「入賞作品展示」

平成 2 1 年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、平成 2 1 年度水資源功績者として表彰されました。水源地域対策、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことが表彰の対象となり、水を考えるつどいにおいて竹歳誠国土交通審議官から表彰状が授与されました。

〔個人〕 3 名

受賞者	功績概要
平野 孝雄 (静岡県)	長年にわたり浜松市の水源である天竜川流域の森林整備に尽力され、平成 8 年からは社団法人静岡県緑化推進協会理事長として、県内各地で緑化運動を推進するとともに、緑化資源の育成及び緑化思想の普及、水源の涵養に貢献されている。
村上 光正 (兵庫県)	繊維ろ床及びミジンコロ床、細砂ろ過法などの水質浄化技術や、余剰汚泥削減技術を開発されるとともに、学生や市民に水環境に関する知識の普及に貢献されている。
加藤 啓雄 (鹿児島県)	恒常的な水不足に悩まされていた喜界島において、農業振興に必要な水源施設として地下ダムの建設に尽力された。

〔団体〕 7 団体

受賞者	功績概要
宮城県土地改良事業団体 連合会栗原支部 (宮城県)	水源の確保や水質保全を目的として、水源地の山林へのブナや山モミジの植樹や、農業農村・森林・ダムの多面的機能に関する講話、ダム施設の見学会など、広く一般県民への啓発活動に尽力されている。
水辺クリーンの会 (宮城県)	“水に関わる企業” 及びその関係者で構成される当該団体は、長年にわたり仙台市とその周辺の水源地である大倉ダム周辺の清掃や湖畔林保全活動、ゴミ投棄防止のための看板設置等の啓発活動を実施し、水源地域の環境美化活動に貢献している。

受賞者	功績概要
ふる里「しとき」を考える会 (福島県)	四時ダム及び四時川周辺の清掃や、花壇の管理等の環境美化活動の他、四時ダム構内におけるフリーマーケットの開催、四時ダム祭り及び四時川祭りを盛り上げるなど、水源地域の活性化に尽力されている。
関川水系土地改良区 (新潟県)	農業用水の適正な配分及び管理の効率化を図るため、説明会の開催やチラシの配布等を精力的に実施し、関係者間の権利調整及び合意形成に尽力された。
特定非営利活動法人 京都・雨水の会 (京都府)	小中学生や地域住民を対象とした学習会、セミナーの開催等を通じた雨水の有効利用に関する啓発活動を行うとともに、平成19年度からは学校やNPO、企業等と協働して、雨水タンクの水を利用したプランター設置を進めるなど、雨水の有効利用促進に貢献されている。
下松市立米川小学校 (山口県)	下松市やその周辺の水源となっている米泉湖の水源林の植樹、間伐、清掃等を地元団体や下松市水道局などと協働しながら実施するなど、水資源の保全に貢献されている。
両筑土地改良区 (福岡県)	福岡都市圏や佐賀県の一部の水道用水及び工業用水、両筑平野の農業用水の水源である江川、寺内の両ダムや、それを導水する用水路を効率的に管理し、渇水時には都市用水と農業用水の相互融通や節水を円滑に実施するなど、地域全体にわたる総合的な水資源の開発及び利用に貢献されている。



第31回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外に居住する日本人中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「全日本中学生水の作文コンクール」を開催しました。第31回を迎えた今年は、総数16,462編の応募がありました。各都道府県での応募作品について各都道府県で地方審査が行われ、優秀とされた作文（各都道府県3編以内）が中央審査対象として送付され、その数は135編にのぼりました。これら135編の中から、中央審査会において、最優秀賞1編、優秀賞5編及び入選26編が選ばれました。

今回の実施状況は、次のとおりです。

（1）主催等

主催：国土交通省、都道府県

後援：文部科学省、全日本中学校長会、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構

（2）募集要領

①テーマ：「水について考える」（題名は自由）

②原稿：400字詰原稿用紙4枚以内

③募集期間：平成21年5月15日（金）まで

ただし、外国に居住する者にあつては、平成21年6月5日（金）まで
都道府県等への募集依頼 平成20年11月中旬

（3）応募状況

応募学校数：344校

応募総数：16,462編

（4）中央審査会審査委員 ※50音順、敬称略

五十嵐 太乙（国土交通省大臣官房審議官）

久保田 勝（独立行政法人水資源機構理事）

須磨 佳津江（キャスター）

田村 雄一（社団法人日本水道協会調査部次長）

長崎 宏子（スポーツコンサルタント）

山田 佳子（全日本中学校長会編集部長）



第31回全日本中学生水の作文コンクール入選者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	ふりがな氏名	学年	学校名
最優秀賞 国土交通大臣賞	愛知県	「水」が教えてくれたこと	しらい かすみ 白井 夏純	2	しんしろ しりつ しんしろ ちゅうがっこう 新城市立新城中学校
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	奈良県	受け継いでいく水	みやくほ はるか 宮久保 晴加	3	なら しりつ つげ ちゅうがっこう 奈良市立都祁中学校
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	北海道	「水を大切にすると」は	かとう なおや 加藤 直也	3	おとふけ ちゅうりつ ちゅうなん ちゅうがっこう 音更町立緑南中学校
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	徳島県	富郷ダムと祖父の山	はやし まさき 林 正基	1	とくしま しりつ なんぶ ちゅうがっこう 徳島市立南部中学校
優秀賞 国土交通省土地・水資源局水資源部長賞	鹿児島県	命の泉「カワ」	なかむら まち 中村 まち	2	としま そんりつ ぐちのしま ちゅうがっこう 十島村立口之島中学校
優秀賞 全日本中学生水の作文コンクール中央審査会特別賞	北海道	先人からの贈りもの	たけいし さ 早代 武石 早代	3	いわみざわ しりつ ゆたか ちゅうがっこう 岩見沢市立豊中学校
入選（26編）	青森県	消えた水	さかた 美咲 坂田 美咲	3	しりつ わきのさわ ちゅうがっこう むつ市立脇野沢中学校
	岩手県	この流れをいつまでも	うめき ひろき 梅木 大幹	3	かるまい ちゅうりつ こ がるまい ちゅうがっこう 軽米町立小軽米中学校
	岩手県	「水の豊かさ」を築く	おおみなと はなえ 大湊 英恵	3	もりおか しりつ いいおか ちゅうがっこう 盛岡市立飯岡中学校
	山形県	命の源 ― 水	おうがい 王凱	3	よねざわ しりつ だいに ちゅうがっこう 米沢市立第二中学校
	福島県	私が考える水質再生計画	ましこ み き 増子 光希	2	こおりやましりつ みどりが おかちゅうがっこう 郡山市立緑ヶ丘中学校
	茨城県	命を支える水のバトン	ごうし ゆうき 合志 由樹	1	みと しりつ だいが ちゅうがっこう 水戸市立第五中学校
	茨城県	水―命の源―	いしい もえか 石井 萌加	2	いばらき けんりつ なみき ちゅうと ちゅうい ちゅうがっこう 茨城県立並木中等教育学校
	群馬県	「水と地球のためにできること」	よしおか かい き 吉岡 海輝	2	ぐんま だいがく ちゅうい ちゅうがっこう 群馬大学教育学部附属中学校
	千葉県	節水、できることから始めよう	よしつぐ ゆみこ 吉次 由美子	3	まつど しりつ だいが ちゅうがっこう 松戸市立第五中学校
	東京都	わたしたちと水	ちば あけみ 千葉 明美	2	とうほう じよし ちゅうがっこう 桐朋女子中学校
	新潟県	『母なる海との誓い』	ながはま いと か 長瀆 愛香	1	にいがたしりつ はやどおり ちゅうがっこう 新潟市立早通中学校
	福井県	水と私達の未来	こはら あい 小原 あい	3	ふくい しりつ あすわ ちゅうがっこう 福井市立足羽中学校
	静岡県	恵みの水	やまもと り な 山本 梨那	1	せいしん じよし がくえん せい せいしん じよし がくえん ちゅうがっこう 聖心女子学院不二聖心女子学院中学校
	三重県	綺麗な水と私達	ゆかわ みさき 湯川 実咲	2	たかだ がくえん たかだ ちゅうがっこう 高田学苑高田中学校
	滋賀県	「先人の知恵と工夫と三方よし」 ―「かばた」に学ぶ水環境―	たかはし あつし 高橋 篤史	3	もりやま しりつ もりやま ちゅうがっこう 守山市立守山中学校
	京都府	守ろう、命の水を……	マクドナルド えみ 理・マーガレット	1	りつめいかん うじ ちゅうがっこう 立命館宇治中学校
	香川県	『いのちの水を大切に』	おさか あすか 苧坂 明日香	1	あやがわ ちゅうりつ ちゅうなん ちゅうがっこう 綾川町立綾南中学校
	佐賀県	命の水	まつくま ひかり 松隈 光里	1	さが けんりつ こうなん ちゅうがっこう 佐賀県立香楠中学校
	熊本県	熊本の水	たか き せいか 高木 精華	2	くまもと しりつ さんわ ちゅうがっこう 熊本市立三和中学校
	大分県	「身近な水辺環境と暮らし」	どひ あきのり 土肥 謙則	2	おおい だいがく ちゅうい ちゅうがっこう 大分大学教育福祉科学部附属中学校
	宮崎県	命をつなぐ水	なかもと なな 中本 奈那	2	みやざき けんりつ みやざき ちゅうと ちゅうがっこう 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
	宮崎県	生活を支える豊かな水	くろき ふう こ 黒木 楓子	2	みやざき けんりつ みやざき ちゅうと ちゅうがっこう 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
	鹿児島県	誇り高き屋根の上のタンク	そ けん まいこ 祖堅 真衣子	2	いけだ がくえん いけだ ちゅうがっこう 池田学園池田中学校
	沖縄県	生活の水、命の水	すながわ ち な つ 砂川 智菜津	1	みやこじま しりつ すながわ ちゅうがっこう 宮古島市立砂川中学校
	沖縄県	当たり前から	と ぐ 桃香 渡久地 桃香	3	いえ そんりつ いえ ちゅうがっこう 伊江村立伊江中学校
	海外 (フランス)	水の大切さ	とう ま しゅん 當間 竣	1	にほんじん がっこう パリ日本人学校

第24回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会
 後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構
 協賛 富士フイルム株式会社

テーマ ・ 水辺の憩い、水のある風景
 ・ 暮らしの中で毎日使う水
 ・ 作物や草木を育て、エネルギーを生む水
 ・ ダムや水路など水をつくる施設
 ・ 歴史とともにある街の中の水 等

募集期間 平成21年4月20日（月）～6月19日（金）
応募状況 総計 2,773点
表彰 平成21年7月31日（金）
 水を考えるつどいにおいて（グランプリ、優秀賞）
作品展示 平成21年7月31日（金）～8月 2日（日）
 東京北の丸公園内 科学技術館2F 展示ホール

審査員（敬称略）

中谷 吉隆 （写真家、日本写真協会(PSJ)会員）
内田 勲 （写真家、日本写真作家協会(JPA)会員）
片岡 友理 （著述家）
五十嵐 太乙 （国土交通省大臣官房審議官）
河島 均 （東京都都市整備局長）
山本 徳治 （水の週間実行委員会運営委員長）



第24回水とのふれあいフォトコンテスト受賞者一覧

〔グランプリ〕 国土交通大臣賞 画題：「ぼくが先だ」

照 井 俊 男 （岩手県）

〔優秀賞〕 3名

○東京都知事賞 画題：「シティライフ」

山 本 田 鶴 子 （静岡県）

○水の週間実行委員会会長賞 画題：「夏の日」

中 野 竜 夫 （愛知県）

○独立行政法人水資源機構理事長賞 画題：「壁に咲く花」

市 川 有 吉 （茨城県）

〔特別賞〕 1名

○ 富士フィルム賞 画題：「浅春(せんしゅん)の水鏡」

須 藤 東 二 （群馬県）

〔特 選〕 5名

「ミネラルいっぱい！」 會 澤 和 則 （茨城県）

「天空の棚田」 中 井 成 子 （兵庫県）

「暑い日」 星 詔 子 （愛知県）

「水の階段」 斉 藤 延 子 （香川県）

「気分は おやゆび姫」 福 田 尚 人 （滋賀県）

〔入 選〕 10名

「水のトンネル」 吉 直 新一郎 「春のよろこび」 下 村 あつ子

「水上ウォーク」 池 田 一 政 「天空のオアシス」 木 下 博 貴

「うまか〜」 野 村 正 人 「曲水の宴」 瀬 川 正 範

「ボート川下り」 太 田 信 子 「イカダレースの親子」 清 水 昭 平

「お兄ちゃんありがとう」 早 川 英 夫 「守る」 奥 山 佐具子

※ この「水とのふれあいフォトコンテスト」は、「河川整備基金」の助成を受けて実施しております。

「河川整備基金」は、河川整備を民間の協力を得て緊急に推進するため、政府の協力（閣議了解）に基づき昭和 63 年度に設立され、国民各層・企業・全国の地方募金委員会等が資金を拠出（寄付）して造成されているものです。

この基金の運用益（利息）から、安全で良好な“河川環境”を目指してよりよい“川づくり”に役立つ様々な活動に対して支援を行うことによりわが国の河川整備の効率的な推進に寄与することを目的としています。

河川整備基金では、これらの目的のために河川・ダム・砂防・海岸等に関する調査・試験・研究、環境整備対策、国民的啓発運動の様々な活動に対して助成を行っています。

第29回ウォーターフェア隅田川レガッタ

隅田川は、水資源開発公団（現（独）水資源機構）武蔵水路事業により河川水を荒川から隅田川に導入する浄化用水の効果と東京都における下水道の整備事業が進んだこと、近年行われている新しい水辺空間の創出の効果とが相乗し快適な水辺空間を多くの市民に提供できる憩いの場となりました。

高度経済成長期以降の劣悪な水質に著しい変化を遂げ水質の浄化が進んだことにより人々の生活の場に再び戻ってきた隅田川の姿を喜び、水に親しむ“水の週間”行事の一環として昭和56年から開催され、春の早慶レガッタとともに夏の隅田川の風物詩として定着してきた「ウォーターフェア隅田川レガッタ」も今年で29回目を迎えました。

今年の隅田川レガッタは、曇天時折小雨の中での開催となり、レース前には恒例となっている主催者による競漕の安全とレガッタ開催の告知を兼ねた浅草寺への安全祈願を行いました。

多くの観客が見守る中、参加登録63クルー（選手558名）にのぼる参加者の競漕と応援による熱戦が繰り広げられ、日頃から鍛えた自慢の腕を披露し観客からは惜しめない拍手が送られました。また、開会式では恒例となった墨田区内の6つの中学校の吹奏楽部による「水のコンサート」が行われると同時に熱いレースの合間にはクルーを声援する墨田区、江戸川区、葛飾区の各太鼓連盟による勇壮な和太鼓の演奏も行われ、ウォーターフェア隅田川レガッタの開催に華を添えました。

なお、行事を計画し、準備取り組んだ隅田川シティアピール、打ち水は雨のため中止となりました。

日 時	平成21年8月2日（日）11：00～16：30
コ ー ス	隅田川言問橋～吾妻橋（500m／ウォーターフェアコース）
主 催	社団法人東京都ボート協会、水の週間実行委員会
後 援	国土交通省、東京都、群馬県、墨田区、台東区、墨田区教育委員会、独立行政法人水資源機構、千葉県香取市、社団法人日本ボート協会、欧州連合駐日欧州委員会代表部
特別協力	墨田区立中学校吹奏楽部（墨田・堅川・吾婦第一・吾婦第二・向島・立花） 墨田区太鼓連盟、江戸川区太鼓連盟、葛飾区太鼓連盟、 早慶レガッタ運営委員会
協 力	日本赤十字社東京都支部、関東漕艇学生連盟、財団法人東京都公園協会、 社団法人東京港運協会、全国内航タンカー海運組合、屋形船東京都協同組合、 東京都観光汽船株式会社、隅田川市民交流実行委員会、江東明るい社会づくり の会、墨田明るい社会づくりの会、台東明るい社会づくりの会、隅田川ローイ ングクラブ、向島五丁目西町会、金曜会、江戸川区ボート協会、国技館すみだ 第九を歌う会
協 賛	墨田区観光協会、浅草観光連盟、協同組合浅草商店連合会、アサヒビー ル株式会社、アサヒ飲料株式会社、東武鉄道株式会社、ライオン株式会社、 隅田川文庫
競 漕	17レース
競漕種目	①男子エイト ②中学男子ナックルフォア ③中学女子ナックルフォア ④一般男子ナックルフォア ⑤一般女子ナックルフォア ⑥マスターズエイト ⑦水域対抗ナックルフォア ⑧区対抗ナックルフォア ⑨地域対抗ナックルフォア ⑩市町村対抗ナックルフォア ⑪ボート教室対抗ナックルフォア



太鼓演奏



隅田川浄化と隅田川レガッタパネル展示



選手宣誓



水のコンサート in 隅田川



力漕するクルー



水機構(沼田総管)パネル展示



表彰式

第29回ウォーターフェア隅田川レガッタ競漕結果

全レース：500m

レース区分	時間	レーン	クルー名	着順	タイム
1 男子エイトA	11:30	1	駿台艇友会	3	1'40"22
		2	稲門ミドル	2	1'34"69
		3	TBC	1	1'29"14
		4	学習院桜艇会	4	1'44"01
2 水域対抗ナックルフォア	11:40	1	チームウォーターフェア	1	2'18"94
		2	MIZUボートクラブ	2	2'29"81
		3	水元公園かわせみ	4	2'36"51
		4	旧中川で漕ごう会音龍	3	2'33"77
3 地域対抗ナックルフォア	11:55	1	堅中教員チーム	2	2'33"99
		2	チームやなちゃん	3	2'38"83
		3	三菱商事市来ユニット	1	2'09"33
		4	小松川三HOPE'S	4	3'04"60
4 ボート教室対抗ナックルフォア	12:10	1	旧中川ボート教室	2	2'17"29
		2	多摩川でボートを楽しむ会	1	2'12"66
		3	水元公園CWS	4	3'04"72
		4	水元公園メタセコイア	3	3'03"07
5 区対抗ナックルフォア	12:25	1	江戸川区役所ボート部	2	2'28"47
		2	墨田区漕艇部	1	2'22"82
		3	台東区職員クルー	3	2'39"01
		4			
6 男子エイトB	12:40	1	タークブルース連合	1	1'36"14
		2	団塊号	3	1'40"55
		3	MBCバルテ会	2	1'38"57
		4	関南会	4	1'47"69
7 中学男子ナックルフォア	12:50	1	江戸川区中学連合	1	2'16"31
		2	堅川中学	3	2'28"07
		3	ジュニアタマちゃんズ	4	2'35"33
		4	錦系中学	2	2'26"92
8 中学女子ナックルフォアA	13:05	1	堅川中学A	3	3'05"75
		2	錦系中学A	1	2'35"19
		3	江戸川区中学連合	2	2'53"12
		4			
9 中学女子ナックルフォアB	13:20	1	堅川中学B	2	3'37"24
		2	錦系中学B	1	2'44"40
		3			
		4			
10 市町村対抗ナックルフォア	13:35	1	マンズタマちゃんズ	3	2'25"77
		2	清川村ボート愛好会	2	2'25"30
		3	千葉県・香取市小見川	1	2'10"09
		4			
11 マスターズエイトA	13:50	1	稲門超六漕ごう会	3	1'53"91
		2	CONCORDIA RC	2	1'52"96
		3	三田漕マスターズ	1	1'44"62
		4	三菱ボートクラブシニア	4	1'59"02
12 一般女子ナックルフォア	14:00	1	旧中川で漕ごう会ヴィーナス	3	3'01"24
		2	レディースタマちゃんズ	2	2'53"18
		3	ママさんパワーズⅡ	4	3'18"76
		4	MBCバルテ会	1	2'35"36
13 一般男子ナックルフォアA	14:15	1	団塊号	2	2'16"22
		2	タークブルース	1	2'00"76
		3	警視庁A	3	2'27"84
		4	TBC	棄権	
14 一般男子ナックルフォアB	14:30	1	チームTRAIN	3	2'18"53
		2	学習院桜艇会	2	2'15"08
		3	桑園ローイングクラブ・千里馬	4	2'28"44
		4	宮内RC	1	2'12"14
15 一般男子ナックルフォアC	14:45	1	横浜ロイヤル	3	2'09"67
		2	宮ヶ瀬湖一草会	4	2'10"20
		3	EDOGAWA青い流星	2	2'06"50
		4	警視庁B	1	1'58"08
16 一般男子ナックルフォアD	15:00	1	レークサイドローイングクラブ	3	2'25"06
		2	さくらと虎(葛飾区)	4	3'21"74
		3	四神会	2	2'19"74
		4	三菱商事焼肉ユニット	1	1'49"80
17 マスターズエイトB	15:15	1	大倉105	3	1'49"89
		2	白門艇友会	2	1'46"11
		3	多摩川マスターズタマちゃんズ	1	1'45"72
		4	隅田川RC傘寿クルー	4	1'59"99

利根川水系における上下流交流

○ 「草木湖まつり」における上下流交流

8月15日（土）、群馬県みどり市東町の草木ダム下流の東運動公園において「第32回草木湖まつり」が開催されました。

普段、私たちは当たり前のように水を利用していますが、その水を生み出すために、住み慣れた先祖伝来の土地から移り住んでいただくなど、水源地域の方々の大変なご苦勞とご協力があつたことはあまり知られていません。

草木湖まつりは、草木ダム建設に伴い移転した旧東村の移転者の方々に、年に一度はふるさとで楽しい日を過ごしていただきたいという想いと、利根川水系の水源地域の方々と下流流域で水を使用する人々との相互理解・相互交流を図り、上下流交流を促進しようという目的で開催されています。

祭り当日は、メイン会場の東運動公園で「鱒のつかみどり」や「ボート遊覧」など様々なイベントが行われたほか、上下流交流の一環として下流受益地である東京都から墨田区太鼓連盟の方々が参加し、あづま太鼓による勇壮な演奏を披露してお祭りを盛り上げていました。



恒例・鱒のつかみどり



ボート遊覧

水の週間一斉打ち水大作戦

○ 水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省の状況

今年より「水の週間」関連行事としまして、水の週間期間内に全国各地で一斉に打ち水を行う「水の週間一斉打ち水大作戦」をはじめました。

国土交通省においては、東京都下水道局の協力のもと、8月3日（月）の昼休み時間を利用して、中央合同庁舎3号館正面玄関前にて、「水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省」が実施しました。甲村国土交通技監による「打ち水～、始め！」の号令に合わせ、20名を超す色鮮やかな浴衣姿の女性職員を含む150名程の職員が、柄杓、じょうろ、桶、ペットボトルなどを使い、熱くなっている地面に、準備した約460リットルのお風呂の残り湯と東京都下水道局よりご提供いただいた下水再生水を一斉に撒きました。

その結果、わずか数分の間に、31.8℃から31.1℃に、約0.7℃の気温低下が確認されました。

打ち水に参加された方々は、日頃の冷房等で味わえない「涼」を感じることができたのではないかと思います。



水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省の状況

○ 水資源機構の取り組み

8月3日（月）、JRさいたま新都心駅西口歩行者デッキ上において、暑さを和らげる試みとして、「打ち水大作戦」（主催：さいたま市下水道局）が開催され、機構も後援団体として参加しました。

打ち水（散水）には、下水道施設で処理した再生水を利用しており、延べ約300名の方が参加されました。



打ち水大作戦

国や地方公共団体等での実施状況

国土交通省をはじめとする国の各機関や地方公共団体等においても、水に対する理解を深めるための活動が広範に実施されました。

① ポスターの掲示

「将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ」を共通テーマとして刷り込んだポスター21,000枚が作成され、関係府省庁、都道府県、市町村、中学校等に配布、掲示されました。

② 冊子の配布

平成21年版日本の水資源（水資源白書）の内容をわかりやすくまとめ、年齢層を広くカバーできる内容とした一般向け冊子「日本の水2009」が39,000部、さらにこれを見学向けにとりまとめた冊子「水がいのちをそだてる」8,000部がそれぞれ作成され、都道府県をはじめ、市町村や小中学校、報道機関等を対象として、各種展示会、講演会、施設見学会等、水の週間の行事を開催するなかで幅広く配布されました。

③ 地方公共団体等における取り組み

東京においては、全国における水の週間の中央行事として位置づけられる「ウォーターフェア'09東京」として、水を考えるつどい（各種表彰を含む。）、上下流交流コンサート、水の展示会、パネルディスカッション、水の週間記念隅田川レガッタをそれぞれ実施したほか、各都道府県等においても、講演会やシンポジウム、施設見学会、上下流交流会、水の展示会、全日本中学生水の作文コンクールの地方表彰等の各種活動が実施されました。

全国の各都道府県等における行事の取り組み状況は、次のページのとおりです。

④ その他

水の週間及びその趣旨の周知徹底を図るため、多彩な広報活動が行われました。

媒 体	名 称	時 期	内 容
インターネット	水の週間ホームページ	6月25日 以降	・水の週間の意義 ・水の週間の主なイベント ほか
ラジオ	中山秀征の Beautiful Japan	7月25日 放送	・水の週間の意義 ・水を大切に使う社会について
雑誌	人と国土 21	7月15日	・水の週間の意義 ・第33回「水の日」及び「水の週間」について

第33回「水の週間」(平成21年度)都道府県等行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	映画会・音楽会・研修会 講演会・シンポジウム	上下流交流 施設見学会	街頭キャンペーン アンケート	展示会	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	電光掲示板・横断幕 懸垂幕・立看板
全国	47	47	6	21	11	19	47	7	11	10	12	33	14
北海道	○	○		☆	☆	☆	◎					○	
青森県	○	○					◎					○	○
岩手県	○	○					◎			○			
宮城県	○	○			☆		◎					○	
秋田県	○	○			☆	☆	◎						
山形県	○	○	○	○	☆	☆	○						
福島県	○	○		☆		☆	◎		○		○	◎	
茨城県	○	○	○	○		○	◎				○	○	
栃木県	○	○					◎		○			○	○
群馬県	○	○		◎		○	◎	○	○	○	○	○	
埼玉県	○	○					◎		○		○	○	○
千葉県	○	○		○		○	◎					○	○
東京都	○	○	○	○		○	◎			○	○	○	
神奈川県	○	○				◎	◎				○	○	
新潟県	○	○	○				◎			○			
富山県	○	○		◎			◎			○		○	
石川県	○	○					◎						
福井県	○	○		☆		○	○				☆	○	○
山梨県	○	○					○						
長野県	○	○					○						○
岐阜県	○	○		○			◎					○	
静岡県	○	○	○		◎	☆	◎	○		○		○	
愛知県	○	○		☆		○	◎		○	○	○	○	○
三重県	○	○		☆			◎					○	○
滋賀県	○	○					◎					○	
京都府	○	○				○	◎				○	○	
大阪府	○	○		◎	☆		◎				○	○	
兵庫県	○	○			☆		◎						
奈良県	○	○		○		○	◎	○				○	
和歌山県	○	○					◎					○	
鳥取県	○	○		○			○						
島根県	○	○					◎					○	
岡山県	○	○		○			○						
広島県	○	○					◎					○	
山口県	○	○					◎					○	
徳島県	○	○			○		◎					○	○
香川県	○	○		◎	◎	☆	○						☆
愛媛県	○	○		☆		○	○	○	○				
高知県	○	○		☆			◎	○	○				
福岡県	○	○		○	○		◎	○	○		○	○	○
佐賀県	○	○		○		○	◎					○	
長崎県	○	○			☆		○						
熊本県	○	○	◎			◎	◎		○	○		○	
大分県	○	○					○			○	○	○	○
宮崎県	○	○					◎		○	○		○	○
鹿児島県	○	○					◎					○	
沖縄県	○	○				○	◎	○	○			○	○

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示す。

「パンフレット」欄の○は、「日本の水2009」(制作:(財)水資源協会)を配布したことを示す。

「作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の欄の◎は都道府県に加えて市町村等が独自に取り組んでいることを示し、☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

第33回水の週間新聞等報道状況

月 日	新聞名	地域	見 出 し
4月5日	中日新聞	地方	「全日本中学生水の作文コンクール」の募集について
4月12日	宮崎日日新聞 他	地方	第31回「全日本中学生水の作文コンクール」作文募集について ※県政けいじばん
4月28日	大分合同新聞	地方	「全日本中学生水の作文コンクール」の募集
7月15日	デーリー東北	地方	岩手県「水の作文」賞状伝達式
7月18日	デーリー東北	地方	中学生水の作文県コンクール表彰
7月27日	水道産業新聞	全国	将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ
7月27日	北陸中日	地方	上下水道探検親子らツアーの掲載記事
7月27日	岩見沢新聞	地方	「中学生水の作文コンクール」全国優秀賞・特別賞受賞
7月30日	北海道新聞	地方	「中学生水の作文コンクール」全国優秀賞
7月31日	日刊建設工業新聞	全国	水の日、水の週間
7月31日	四国新聞	地方	水の大切さ呼び掛け水資源機構などパネル展示
8月1日	上毛新聞	地方	開催状況(ぐんまウォーターフェア)
8月1日	上毛新聞	地方	下久保ダム親子で見学
8月1日	北日本新聞	地方	今日8月1日は「水の日」
8月1日	北日本新聞	地方	全日本水の作文コンクール
8月1日	読売新聞	地方	特集「水の日」
8月2日	新潟日報	地方	「県からのお知らせ」節水を呼びかけるもの。
8月2日	熊本日日新聞	地方	「くまもと水の週間記念式典」における作文コンクール表彰式の概要と中央審査会結果について
8月2日	読売新聞	地方	イベント開催状況
8月3日	日刊建設産業新聞	全国	水の重要性に理解を「水を考えるつどい」開催
8月3日	常陽新聞	地方	「冷たくて気持ちいい」行方「水の週間」でイベント
8月3日	毎日新聞	地方	「水資源の有限性を知って」比奈知ダム見学会親子連れでにぎわう
8月4日	建設通信新聞	全国	水を大切に社会へ第33回「水の日」8月1日「水の週間」8月1-7日
8月4日	産経新聞	地方	「水の週間一斉打ち水大作戦(池田市役所)」
8月4日	東奥日報	地方	全日本水の作文コンクール
8月4日	徳島新聞	地方	喝水問題解説小冊子を配布 徳島駅前街頭啓発
8月5日	信濃毎日新聞	地方	水の大切さ水源で学ぶ 木曾町・王滝・愛知の児童
8月5日	中日新聞	地方	体で感じる自然三岳 児童らダム見学
8月5日	宮崎日日新聞	地方	水の作文コンクール審査結果について
8月5日	釧路新聞	地方	中学生水の作文コンクール
8月6日	北海道新聞	地方	全国一斉打ち水大作戦について
8月7日	岩見沢新聞	地方	全国一斉打ち水大作戦について
8月8日	静岡新聞	地方	上下水道フェアの記事掲載
8月8日	山陽新聞	地方	イベント開催状況
8月10日	京都新聞	地方	余呉で丹生ダムふれあいフェスタ
8月11日	中日新聞	地方	比奈知ダムをライトアップ
8月12日	産経新聞	地方	暗闇で星空楽しんで比奈知ダム
8月14日	中日新聞	地方	「全日本中学生水の作文コンクール」の受賞者について
8月15日	上毛新聞	地方	親子で草木湖無料遊覧を
8月22日	上毛新聞	地方	開催状況(上下流交流事業)
8月25日	交通新聞	全国	ヒートアイランド対策について

「水の週間」実施経過

メインスローガン「水ーこの限りある貴重な資源」「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6.26)

(国土交通省に再編 H18. 1. 6)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会(国土庁会議室) (ポスター、パンフレット) ○第1回水資源に関するシンポジウム (10.25)	・水の週間閣議了解(5.31) ・国連水会議(3.14 ~ 25) ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だナ	○ウォーターフェア'78 (銀座 松屋)	・水の週間実行委員会設立 (5.8、11 団体) ・長期水需給計画策定 ・福岡喝水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水ーいまこそいかそう私 たちの智慧ー	育てよう水 ー足どり確かに、 一歩一歩。ー	○ウォーターフェア'79 (船の科学館) ○第1回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか(福岡市)	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 ーみんなの水を、みんなの水 で。ー	○ウォーターフェア'80 東京 (科学技術館) ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄喝水
昭和 56 (5)	水源の人たちに感謝しまし いのちの水・水とのであい。	今日の水・明日の水 ー水みんなの和で 育てよう。ー	○ウォーターフェア'81 東京 (科学技術館) ○第1回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア (兵庫県)	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア'82 東京 (科学技術館) ○第2回水資源に関するシンポジウム (8.3 ~ 5)	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア'83 東京 (科学技術館)	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア'84 東京 (科学技術館)	・水資源局から水資源部へ改組み (国土庁) ・国際河川博覧会(アメリカ・ニュー オリンズ)
昭和 60 (9)	考えよう水ーくらしと水・資源とし て水ー	水・ありがとう。	○ウォーターフェア'85 東京 (科学技術館) ○ウォーターフェアK O B E (神戸市)	・冬期喝水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア'86 東京 (科学技術館) ○ウォーターランド(新宿副都心) ○第1回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン(宮ヶ瀬ダム)	・水資源世論調査 ・冬期喝水(西日本)
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア'87 東京 (科学技術館) ○第3回水資源に関するシンポジウム (浩宮殿下による特別講演) (8.4 ~ 5)	・首都圏喝水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画(ウォーターブ ラン2000)策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア'88 東京 (科学技術館) ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア'89 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア'90 東京 (科学技術館)	・人と水とのかわり世論調査 ・首都圏喝水
平成3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア'91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア'92 東京 (東京都庁) ○第 4 回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成 5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア'93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定 (3.22)
平成 6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア'94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成 7 (19)		大切に使おう、かけがえない 「水」	○ウォーターフェア'95 東京 (墨田区役所)	
平成 8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20 年。	○ウォーターフェア'96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成 9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア'97 東京 (科学技術館) ○第 5 回水資源に関するシンポジウム (8.4 ～ 5)	
平成 10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア'98 東京 (科学技術館)	
平成 11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア'99 東京 (科学技術館) ・水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画（ウォー タープラン 21）策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、展 示会視察
平成 12 (24)		水の力	○ウォーターフェア 2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成 13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア'01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足 (1.6) ・全国的な渇水
平成 14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア'02 東京 (新宿パークタワー) ○第 6 回水資源に関するシンポジウム (8.2 ～ 3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア'03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成 16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア'04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成 17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア'05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成 18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア'06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17 年末に全国で大雪、降水量首都 圏は平年並み
平成 19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア'07 東京 (科学技術館) ○第 7 回水資源に関するシンポジウム (8.3 ～ 4)	・春から 6 月にかけて西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成 20 (32)		水がはぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア'08 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成 21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア'09 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨

※ 全日本中学生水の作文コンクール、ウォーターフェア隅田川レガッタ、水とのふれあいフォトコンテスト、水源地域からのメッセージは、現在も継続中。

水の週間実行委員会について

昭和53年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和53年5月8日設立総会)

かつて、ケネディは「21世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないといつてよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるところとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和52年に8月1日を「水の日」とし、この日から1週間は「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

水の週間実行委員会の組織

会長 青山俊樹（独立行政法人水資源機構理事長）

平成21年 8月 1日現在

団 体 名	実 行 委 員		運 営 委 員	
全 国 水 土 里 ネット	専務理事	佐藤 準	技術顧問	寺尾 雅人
造水促進センター	理事長	島川 文雄	常務理事	秋谷 鷹二
日本治山治水協会	会長	山口 俊一	専務理事	田尾 秀夫
日本河川協会	会長	虫明 功臣	常務理事	住吉 豊明
日本工業用水協会	会長	神田 眞秋	総務部長	芳田 丈夫
日本水道協会	専務理事	御園 良彦	調査部長	松明 淳
全国簡易水道協議会	会長	井口 一郎	事務局長	若松 五常
日本下水道協会	会長	倉田 薫	常務理事	古場 新太郎
日本ダム協会	会長	葉山 莞児	専務理事	横塚 尚志
全国治水砂防協会	会長	綿貫 民輔	理事長	岡本 正男
利根川・荒川水源地域対策基金	理事長	志水 茂明	事務局長	梶間 谷 允
	理事	藤井 友竝		
水 資 源 協 会	理事長	近藤 徹	専務理事	大藪 勝美
土 木 学 会	会長	近藤 徹	専務理事	古木 守靖
農業農村工学会	会長	宮崎 毅	専務理事	岩崎 和己
独立行政法人水資源機構	理事長	青山 俊樹	総務部長	清水 丞自
	理事	◎山本 徳治	総務部次長	伊藤 博

団 体 名	運 営 委 員	
国 土 交 通 省（水 資 源 部）	審 議 官	○五十嵐 太乙
	水 資 源 政 策 課 長	西 川 智
	水 資 源 計 画 課 長	矢野 久志
	水 源 地 域 対 策 課 長	斉藤 一雅
	専 門 調 査 官	寺田 憲治
東 京 都（都 市 整 備 局）	局 長	河島 均
	都 市 づ くり 政 策 部 長	安井 順一
	都 市 づ くり 政 策 部 副 参 事	大内 浩之

◎運営委員長 ○運営副委員長

MEMO



第33回「水の週間」ポスター



**水は限りある
貴重な資源です。**

8月1日は 8月1日～7日は
「水の日」 「水の週間」

8月1日は「水の日」、8月1～7日は「水の週間」です。国土交通省・都道府県・水の週間実行委員会
「水の日」「水の週間」に関する行事等の情報は、国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/tochimizushigen/mizsel/indx.html>)
もしくは水の週間ホームページ (<http://www.jawa.or.jp/>) をご覧ください。 【水の週間実行委員会事務局】TEL：03-5645-2991

水の週間実行委員会事務局

〒103-0062 東京都中央区日本橋兜町2-2-6

財団法人 水資源協会内

TEL 03-5645-2991